

紀宝町防災マップ

平成30年3月改訂 保存版

いざという時のために、日頃から万全の備えを



この防災マップは、津波浸水予測区域と避難場所、避難についての注意事項などを示すことにより、住民のみなさんの防災対策と災害時の避難にお役に立つことを目的に作成しました。

いざという時に備え、日ごろから危険区域や避難場所を確認し、家庭や地域で話し合いをしておきましょう。

なお、地震の規模や土地利用の変化などにより、地図に示した区域以外の場所でも、場合によっては、浸水被害が発生する可能性もありますので、注意してください。

平成30年3月 紀宝町長

備える！

◆非常持出品・備蓄品

日頃から災害時に備え、非常持出品、備蓄品を準備しておきましょう。いつでも使えるように、すぐ取り出せる場所(玄関・物置など)に保管し、定期的に点検をしましょう。特に食料品や飲料水の消費期限は、こまめにチェックしましょう。非常持出品は、避難時に持ち出すもので、何をどれだけ準備するかは、家族構成・性別・年齢・健康状態などによって異なります。荷物の重さの目安は、成人男性で15kg、成人女性で10kg程度とされていますが、個々の事情に合わせて必要最小限のものをリュックサックなどに準備しておきましょう。

備蓄品は、復旧までの数日間を自活するために最低限必要なものを準備しておきましょう。避難後、少し余裕がでたら安全を確認して自宅へ戻り、避難所へ持ち出したり、自宅で避難生活を送るうえで必要なものです。1人3日分以上(7日分)を目安に準備しておきましょう。

非常持出品 (例)		備蓄品 (例)	
災害発生時に持ち出すもの		被災後の避難生活のために準備するもの	
<ul style="list-style-type: none"> ●避難用品 <ul style="list-style-type: none"> ヘルメット(防災ずきん) 懐中電灯又はヘッドライト(予備電池を含む) 軍手(厚手の手袋) ホイッスル ●貴重品 <ul style="list-style-type: none"> 現金(小銭を含む) ※公衆電話用10円玉、100円玉 車や家の予備鍵 予備の眼鏡、コンタクトレンズなど 銀行の口座番号・生命保険契約番号など 健康保険証 身分証明書(運転免許証など) 印鑑 ●情報収集 <ul style="list-style-type: none"> 携帯電話(充電器を含む) 携帯ラジオ(予備電池を含む) 家族の写真(はくられた時の確認用) 緊急時の家族、親族、知人の連絡先 筆記用具 	<ul style="list-style-type: none"> ●食料品 <ul style="list-style-type: none"> 万能ナイフ・缶切り 使い捨てカイロ マスク 洗面用具 ビニール袋 アルミ製保温シート ●生活用品 <ul style="list-style-type: none"> 毛布 スリッパ ライター(マッチ) 給水缶 雨具(レインコート、長靴など) 簡易トイレ ●清潔・健康用品 <ul style="list-style-type: none"> 救急セット 常備薬・持病薬 タオル トイレットペーパー ウェットティッシュ 着替え(下着を含む) ●必要に応じて <ul style="list-style-type: none"> 母子健康手帳、お薬手帳 粉ミルク・哺乳瓶、離乳食(赤ちゃんに必要なもの) 生理用品 粉ミルク・哺乳瓶、離乳食(赤ちゃんに必要なもの) 紙おむつ(乳幼児・高齢者用) その他自分の生活に必要なもの 		

◆避難訓練に参加しましょう！

この防災マップを活用して、災害について学習し、自宅等の耐震対策、備蓄品等を「備える」とともに、いざという時には、命を守るために「行動」できるようにすることが重要です。避難訓練などに参加し、いざという時に備えましょう。

- ・町や地区主催の避難訓練等に参加しましょう！
- ・訓練の際には、この防災マップを活用しましょう！

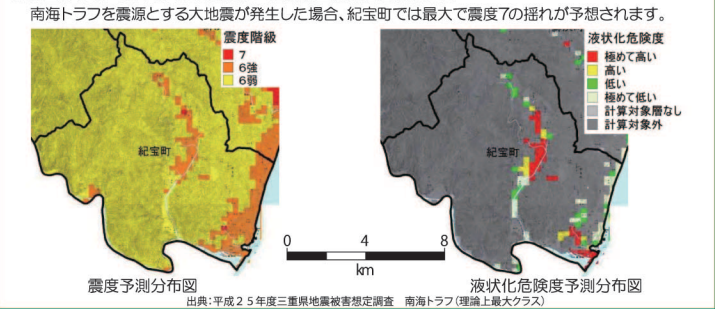
※特に、津波浸水予測区域や土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、避難訓練に参加することが重要です。

紀宝町防災マップに関するお問い合わせ先：紀宝町役場総務課(防災対策係) TEL. 33-0335まで

学ぶ！

◆南海トラフ巨大地震

南海トラフとは、静岡県駿河湾から九州東方沖まで続く、大陸プレートと海洋プレートの境界における深い溝(トラフ)のことで、南海トラフを震源とする地震は、これまで100年から150年の周期で繰り返し発生しており、今後30年以内に70%～80%程度の確率でマグニチュード8から9クラスの大地震が発生するといわれています。(政府 地震調査研究推進本部より)



◆震度とマグニチュード

地震の規模は、マグニチュード(M)で表されます。これは、地震の規模を表す単位で、マグニチュードが1.0上がればエネルギーは約32倍になります。また、震度とは、ある地点で感じる揺れの強さを数字で示したものです。マグニチュードが大きくても震源から離れていけば、震度は小さくなります。

震度 0	人は揺れを感じないが、地震計には記録される。	震度 5弱	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。
震度 1	屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。	震度 5強	大半の人が、物につかまらないと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。
震度 2	屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。眠っている人の中には、目を覚ます人もいる。	震度 6弱	立っていることが困難になる。
震度 3	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。歩いている人の中には、揺れを感じる人もいる。眠っている人の大半が、目を覚ます。	震度 6強	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。
震度 4	ほとんどの人が驚く、歩いている人のほとんどが、揺れを感じる。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。	震度 7	

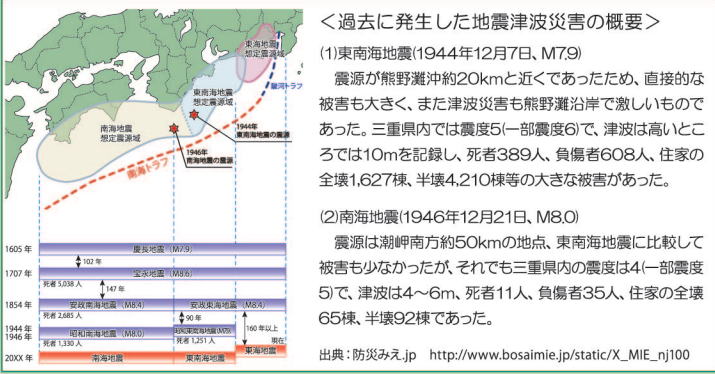
◆ハザードマップの作成状況

紀宝町のハザードマップには、以下のものがあります。この防災マップと合わせて、災害時の危険から命を守るための情報入手してください。

- 洪水ハザードマップ、土砂災害ハザードマップ 紀宝町役場 総務課(防災対策係)までお問い合わせください。
- ため池ハザードマップ 紀宝町役場 産業建設課までお問い合わせください。

学ぶ！

◆南海トラフ周辺で発生した過去の地震津波災害



◆津波の特徴

津波が！津波が！ すぐ避難！
津波から身を守るには、すぐ高台などに避難することが重要です。地域によっては、短時間で津波がやってきます。津波に対する正しい行動をおこなってください。

津波の高さは想像を超える
津波の高さは海岸の地形などに大きく左右されます。沿岸での津波の高さが1メートルも、津波はその数倍から多くてもあります。特にV字状の湾、岬付近、河川沿いなどは高くなりやすく、大変危険です。

津波は繰り返し襲ってくる
津波は2回、3回と繰り返し襲ってきます。しかも、第1波の高さが最大となるのは限りません。大津波警報、津波警報、津波注意報が解除されるまで、警戒をゆるめないでください。また、海岸には絶対に近づかないとともに、避難場所から自宅等には絶対戻らないでください。

備える！

◆ご家庭内の耐震対策(家具・家電製品の転倒防止、ガラスの飛散防止)

地震で建物が無事で、家具・家電製品の転倒や、窓・食器棚等のガラスが飛散したりすると、ケガをしたり、避難経路を塞いだりして大変危険です。ご家族の安全のため、家具の固定や窓ガラスの飛散防止対策を実施しましょう！

町では、家具固定の助成制度がありますので、ご利用ください。助成制度につきましては、紀宝町役場 総務課(防災対策係)までお問い合わせください。

- L型金具の取付けによる家具固定**
※タンスや棚は、L型金具などで壁の柱や壁紙に固定しましょう。
- 突っ張棒の取付けによる家具固定**
※テーブル脚は、家具の両側に設置する。また天井に十分な強度があることを確認しましょう。
- 食器棚などの地震対策**
扉開放防止器具の取付け
※扉開放防止器具には、接着タイプやチェンタイプ、ネジ固定できる掛け金タイプ、感震ラッチなどがあります。本棚など重量の大きい収納物が入っている場合は、ネジ固定できるものを取付けておく効果的です。
- ガラスの飛散防止フィルム**
※引き出しや扉を開閉する際には、ストッパーなどを取付け、中身が飛び出さないようにしておきましょう。
- テレビ台などの固定例**
※テレビやパソコンを載せている場合には、本体と台を固定し、L型金具などでテレビ台を柱や間柱に固定しておくおまじゆ。
- 吊り下げ式照明器具の固定例**
※吊り下げ式の照明器具は、複数のチェーンを使い、数箇所を天井に止め、固定しましょう。また、天井にヒートショック防止の対策があります。
- 窓ガラスの飛散防止の方法**
※ガラス窓の両面に貼ることで、飛散防止効果が高くなります。※片面に貼る場合は、室内側のガラス面に貼ってください。
- ブレーカーの地震対策**
●感震ブレーカーの種類
※感震ブレーカーは、地震発生時に設定値以上の揺れを感じたときに、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。※避難する際にはブレーカーを切る余裕のない場合の電気は自動的に止まるので、感震ブレーカーが効果的です。